

第1回新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会 会議概要

日 時 令和2年6月24日(金) 午前9時30分～

会 場 白根健康福祉センター 3階多目的ホール

<p>午前9時30分 事務局</p>	<p>これより、令和2年度第1回新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会を開催させていただきます。</p> <p>私は、本日の進行を務めさせていただきます、南区健康福祉課課長補佐をしております片桐と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の会議は、会議録を作成する関係上、内容を録音させていただきます。</p> <p>また、本日は、コロナウイルス感染防止のため、皆様からマスク着用や消毒のご協力を頂いております。ご配慮ありがとうございます。なお、席につきましては、ご覧のように空席を設けておりますが、後半の分科会開催時は、事務局も入る関係で少し席の移動をお願いすることになります。蒸し暑い日ではありますが、室内の換気等を行うため、冷気が若干薄まるということも予想されます。何かとご不便をおかけすることになりますが、感染防止の対策になりますので、何卒、お許しを頂きたいと思っております。</p> <p>なお、事務局としては、南区の四つの障がい者団体が運営するわいわいカフェを通じて、コーヒーのサービスをさせていただきますが、暑さ対策として冷水のペットボトルもご用意しておりますので、水分補給をしていただければと思います。</p> <p>それでは、開会にあたりまして、南区健康福祉課長の佐藤よりごあいさつ申し上げます。</p>
<p>健康福祉課長</p>	<p>皆さんおはようございます。本日は大変暑く、お忙しいところ、お集まりいただきまして、まことにありがとうございます。</p> <p>今年度、南区健康福祉課に異動してまいりました、課長の佐藤でございます。よろしくお願いいたします。皆様には、日ごろから当課事業の運営推進に多大なるご理解、ご協力を頂きまして、ありがとうございます。心より感謝申し上げます。</p> <p>さて、本日の南区地域福祉アクションプラン推進委員会ですが、本来であれば、この3月に令和元年度の第2回目の委員会を開催し、5月の連休明けには今年度の第1回目の委員会を開催する予定でございました。しかしご承知のように、この新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されまして、当委員会も停止せざるを得なかったという状況でございます。その後、皆様のご協力もありまして、このような会合を何とか開催できるまでになり、本日を迎えているということでございます。先ほど、申し上げましたが、皆様にはマスクの着用、手の消毒</p>

<p>事務局</p> <p>南区社会福祉協議会事務局長</p>	<p>など、ご配慮いただいております。改めて、御礼を申し上げます。</p> <p>本日の内容でございますが、本来、3月の委員会で予定しておりました令和2年度の分野別計画の概要をご報告させていただきます。また、こちら3月の会議の際にお願いしておりました内容ですが、地区選出の推進委員の皆様から令和元年度の地区別計画の取組みについて、改めてお話を頂きたいと存じます。続いて、5月に予定しておりました次期計画の大まかな案、それに伴います分科会についてのご説明をさせていただきます。</p> <p>このように会議開催が中止となったことで、本日、大変内容が盛りだくさんとなっております、委員の皆様にはご負担をおかけいたしますが、ぜひ忌憚のないご意見をちょうだいいただければと思っております。本日は、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>続きまして、南区社会福祉協議会の小林事務局長、お願いいたします。</p> <p>皆様、おはようございます。南区社会福祉協議会の事務局長を務めております、小林と申します。</p> <p>委員の皆様には、日ごろから計画の推進並びに地域福祉事業の推進にご尽力を頂いておりますこと、厚く御礼を申し上げます。</p> <p>この南区地域福祉アクションプランは、今年度が計画期間の最終年ということになります。推進委員の皆様にご意見やご助言を頂きながら、まずは現計画の総括を行うということ。それから、次期計画の策定を進めていくということになります。皆様から、またご協力を頂きますが、よろしく願いいたします。</p> <p>本日は、ご多用のところお集まりいただきまして、大変ありがとうございます。簡単ではございますが、あいさついたします。どうぞよろしく願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、資料の確認をお願いいたします。資料でございますが、まず会議次第が1部、推進委員会の席次表が1部、委員名簿、分科会名簿が裏表となって1部、「南区地域福祉アクションプラン概要版」というカラーの薄いパンフレットが1部です。次に、以前送付して、本日持参いただいた資料になりますが、「南区地域福祉アクションプラン」の本冊が1部。本冊は貸し出し用もございますので、お忘れの方はお申し出願います。資料1「令和2年度南区地域福祉アクションプラン福祉分野別計画進行管理表」が表紙を除いて両面で12ページ。資料2「地区別計画の進行管理表」が表紙を除いて両面で12ページとなっております。資料3「新潟市の地域福祉に関するアンケート結果</p>

	<p>報告書」が表紙を除きまして両面で140ページになります。</p> <p>ここからは、本日配付資料になります。資料4「南区地域福祉アクションプラン（地域福祉計画・地域福祉活動計画）第3次計画策定スケジュール2次修正（案）」が1部。なお、資料4のスケジュールにつきましては、以前送付したものがコロナの影響で修正が入ったことから差し替えとなります。ご承知おきください。資料3「新潟市地域福祉計画（本庁策定）の基本理念・基本目標（参考）」を1部用意してございます。資料6「新潟市における地域共生社会のイメージ」が1部。資料7「次期南区地域福祉アクションプランの基本理念・基本目標（案）」が1部。同じく資料7の補足「南区区ビジョン基本方針抜粋」が1部。資料8「分野別計画体系（案）」が1部。資料9「分科会席次表」が1枚。資料10「分野計画素案」が両面で18ページでございます。資料11「分科会日程の調整票」が1部で、以上となります。おそろいでしょうか。もし、落ち等がありましたら、予備と交換させていただきますが、いかがでしょうか。</p> <p>それでは、次第3、自己紹介となりますが、前回の推進委員会から約10か月経過しておりますので、改めまして、自己紹介をお願いしたいと思います。自己紹介は、選出先とお名前など、簡単でけっこうでございますので、よろしく願いいたします。</p> <p>名簿順に金子勝委員からお願いしたいと思います。</p>
金子委員	<p>ご紹介いただきました、金子と申します。新飯田コミュニティ協議会から参りました。よろしく願いいたします。</p>
上杉委員	<p>コミュニティ茨曾根からまいりました上杉と申します。よろしく願いいたします。</p>
中丸委員	<p>地区で社会福祉協議会の会長をしております、中丸と申します。よろしく願いいたします。</p>
西村委員	<p>小林地区の西村と申します。書面で団体における役職という欄がございますけれども、そこに民生委員と書かれていますが、民生委員は昨年度で終わりましたので、棒を引いていただければありがたいと思います。今日はよろしく願いいたします。</p>
小林委員	<p>おはようございます。臼井地区の小林と申します。</p> <p>団体のところで地区コミ協会長になっておりますけれども、めでたく3月末で終わらせていただきましたので、ただの平でございますので、よろしく願いいたします。</p>
長谷川（晴）委員	<p>皆さん、おはようございます。大郷地区の長谷川晴美と申します。私も、肩書き一切何もございませんが、よろしく願いいたします。</p>

事務局	<p>名簿では安達竹郎様となっておりますが、本日、所用により欠席でございます。</p> <p>続きまして、丸井武馬さん、お願いいたします。</p>
丸井委員	<p>おはようございます。根岸地域から参りました、丸井武馬と申します。よろしくお願ひいたします。</p>
長谷川（茂）委員	<p>おはようございます。大通地区の長谷川茂です。よろしくお願ひいたします。</p>
小柳委員	<p>皆さんおはようございます。白根コミュニティ協議会から来ました小柳と申します。よろしくお願ひいたします。</p>
仲山委員	<p>味方地区コミュニティ協議会から参りました仲山です。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>次の泉田めずる様ですが、所用により到着が遅れるということで、連絡を受けております。また、到着次第、ごあいさつをお願ひしたいと思ひます。</p> <p>続きまして、田中順子様。</p>
田中委員	<p>おはようございます。南区民生児童員連絡協議会から参りました、田中と申します。よろしくお願ひいたします。</p>
佐藤委員	<p>おはようございます。南区老人クラブ連合会の佐藤恵美です。よろしくお願ひいたします。</p>
永井委員	<p>おはようございます。南区身体障がい者の代表で来ました、永井正子です。よろしくお願ひいたします。</p>
山田（久）委員	<p>おはようございます。音声訳ひばり会から参りました、山田久美子と申します。音声訳というのは、視覚障がい者の方々に、文字情報などを音声で伝えるというボランティア活動でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
池田委員	<p>小林地区の保健会から来ました、池田と申します。知野さんに替わって引き継いだ者ですが、今回、初めてですのでよろしくお願ひいたします。</p>
山田（ひ）委員	<p>子育て支援リーダーから来ました、山田ひろ子です。よろしくお願ひいたします。</p>
田辺委員	<p>おはようございます。南区社会福祉協議会から来ました、田辺金一でございます。出身は月潟です。よろしくお願ひいたします。</p>
渡邊委員	<p>皆さんおはようございます。前任の藤から替わりまして、この4月から異動で参りました、白根児童センター長の渡邊美幸と言ひます。まだ、何も分かりませんが、皆さんに教わりながらしっかり学んでいきたいと思ひております。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>

事務局	<p>皆様、ありがとうございました。</p> <p>それでは、事務局も自己紹介をさせていただきます。前のほうから順番にさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>おはようございます。南区社会福祉協議会の事務局長補佐の横山と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>おはようございます。南区健康福祉地域福祉担当星野と申します。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>おはようございます。南区健康福祉課地域福祉担当の新飯田と申します。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>南区健康福祉課障がい福祉係の関本と申します。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>南区健康福祉課保護係の昆と申します。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>おはようございます。南区健康福祉課高齢介護担当の高橋と申します。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>同じく健康福祉課健康増進係の倉部でございます。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>おはようございます。同じく健康福祉課地域健康係の斉藤です。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>おはようございます。南区健康福祉課児童福祉係の吉田と申します。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>南区社会福祉協議会のボランティアコーディネーターをしております、漆原と申します。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>同じく南区社会福祉協議会の荏原と申します。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>同じく南区社会福祉協議会で今年からコミュニティソーシャルワーカーになりました熨斗と申します。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>南区健康福祉課の室橋と申します。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、次第の4、議事に進めてまいりたいと思います。</p> <p>ここからは、南区地域福祉アクションプラン推進委員会開催要綱の規程により、田辺委員長から進行いただきまして、山田ひろ子委員に副委員長役をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、田辺委員は委員長席に、山田委員は副委員長席にお移りいただきたいと思います。</p>
田辺委員長	<p>ただいま、指名がありましたので、私のほうから今日の進行をやりたいと思います。先ほども申し上げましたが、区社会福祉協議会からの選出の田辺でございます。</p>

事務局	<p>本日の会議の目的でございますが、2015年から2020年の6年間の南区地域福祉アクションプランというものがあり、これにつきまして、私どもの福祉の向上のために、この計画があるわけですが、私ども委員の役割といたしまして、この計画に基づき、意見または評価を入れていくということでございます。どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>それでは、早速議事に沿って、進めてまいりたいと思います。</p> <p>(1) 南区地域福祉アクションプランの概要についてということで、事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>私、健康福祉課の星野でございます。概要ということで、説明させていただきます。</p> <p>今年度、新しく委員に加わった方もおられますし、事務局も新しく転入してきた職員もいます。そのため、計画の概要を説明させていただいたうえで、取組みのイメージをより具体的に持っていただけるよう、概要説明の後に映像資料もご覧いただきます。</p> <p>それでは、カラーパンフレットの「南区地域福祉アクションプラン(概要版)」をご覧いただければと思います。</p> <p>南区地域福祉アクションプランの位置づけからになりますが、この計画は社会福祉法第107条に基づき市町村が策定する「地域福祉計画」と社会福祉行議会が主体となって地域の生活課題の解決方法を見出す「地域福祉活動計画」を地域課題や地域福祉推進の方向性を共有し、南区として一体的に策定したものでございます。</p> <p>次に、基本理念です。南区において地域の連帯を強め、住みなれた地で安心して生活できるよう、支えあいのまちづくりが、“ふるさと南”の創造につながります。</p> <p>また、こうした地域福祉の取り組みから、区民一人ひとりが生きがいを持ち、福祉活動で潤うまちを創りあげます。という理念になっています。</p> <p>次に、基本目標ですが、「ひとりひとりがふれあい、安心していつまでも暮らせるまち」となっており、この目標につきましては、南区区ビジョンまちづくり計画の「目指す区のすがた」の目標と整合をとっています。</p> <p>次に、計画の構成についてです。南区地域福祉アクションプランは、福祉分野ごとにまとめた「分野別計画」と、地区単位の「地区別計画」から構成されています。</p> <p>「分野別計画」とは、地域における福祉課題を「児童・子育て支援」、「障がい福祉」、「高齢者福祉・介護者支援」及び「地域づくり」の</p>
-----	---

分野ごとに整理し、行政、社会福祉協議会、福祉事業者及び地域住民による課題解決に向けた取り組みの方針や内容を明らかにしたものです。

さらに、地区ごとに「地区別計画」を策定し、コミュニティ単位で抱える課題の確認と解決するための目標を設定し、地域福祉活動に関わる者自らが計画の進行を管理する仕組みをつくっています。

分野別計画の体系についてですが、基本目標の下に大項目が四つあり、さらに各大項目の下に小項目がいくつかありまして、個別の取り組みの内容につきましては、後ほど説明してまいります。

裏面に移りまして、地区別計画になります。南区には地区が12ありますので、各地区で座談会を開催、スローガンを定め、目標と取り組みを決め、毎年その取り組みについて委員の皆様を中心に振り返りをしていただいております。

本日の議事の(3)にあります、各地区選出の推進委員の皆様からは、各地区の取り組みの様子などをご報告していただく予定となっております。

最後に、進行管理と評価体制になりますが、この計画につきましては、分科会を開催し、進行状況の把握と評価を行い、推進委員会に提言を行います。とありますが、平成29年度に委員会に諮りまして、平成30年度より分科会は必要に応じて開催することとし、特別な事情がない限り分科会は省略し、推進委員会に評価案や取り組み計画を直接報告することとしております。

地区別計画については、各地区で進行管理・評価をしていただく体制をつくり、推進委員会で報告していただくことになっています。

概要は以上ですが、書面だけですとなかなか伝わらない部分もありますのでこれから7分間ですが、映像をご覧いただきたいと思います。映像に出てくる取り組みは全部で12になります。

地域の茶の間モデルハウス天昌堂、大通にあります子育て支援センターマリンキッズ、障がい者地域自立支援協議会、認知症カフェ、はかろう体重大作戦、社会福祉協議会が行っている福祉教育。これは新飯田小学校の児童が映っています。カムカムスマイル食育講座、子育て応援ジャーみなみ、安産教室、南区社協主催の災害ボランティアセンター検討委員会、赤ちゃんふれあい体験教室。これは思春期教育ということで、白南中学校の生徒が出てきます。最後に高校生防災ボランティア育成研修。これは白根高校の生徒が出てきます。

資料映像がスクリーンに出ますので、事務局と委員長、副委員長は、

	<p>お手数ですが、そちらの席にご移動いただければと思います。映像資料ですから、照明を暗くさせていただきます。</p> <p>(動画視聴)</p>
田辺委員長	<p>ただいま、事務局からアクションプランの概要について説明がございました。今の説明と映写によって何か分からないこと、お尋ねしたいことがございましたら、皆様から忌憚のない意見を聞かせていただきたいと思っています。いかがですか。何でもいいですから、かしこまらないで、ひとつ聞いていただきたいと思っています。</p> <p>ないようでございますので、次に議題（２）の令和２年度南区地域福祉アクションプラン分野別計画の取組みについて、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>説明に入る前に、泉田委員が到着されました。会議冒頭、前回の委員会から10か月経過したということで、皆様から自己紹介を頂いておりました。泉田さんからも軽く自己紹介をお願いしたいと思いますがよろしいでしょうか。</p>
泉田委員	<p>遅くなり、申し訳ありませんでした。</p> <p>私は、月潟コミュニティ協議会の地域代表ということで、泉田めずると申します。アクションプランは初めて仲間入りということですので、皆さんの意見を聞きながら、いろいろと考えていきたいと思っていますので、よろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>泉田様、ありがとうございました。</p> <p>それでは、地域福祉アクションプラン分野別計画の取組みについて、進めていきたいと思っています。</p>
事務局	<p>児童・子育て支援を担当しております、児童福祉係の吉田と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>令和２年度の児童・子育て支援の実施内容について、ご説明いたします。資料１の１ページ目をご覧ください。目標である大項目の「安心して子育てできるまち」について、１ページから３ページまでの三つの小項目に分けてまとめてあります。</p> <p>はじめに、小項目「子育て世代が孤立しないまちづくり」についてです。昨年度までに実施してきました、多様な手法による子育て情報の発信や相談対応、子育て中の親同士の交流促進・ネットワークづくりによりまして、一人で子育てに悩む保護者の解消に一定の成果が見込まれますので、小項目全体では、実施内容に大幅な修正はございま</p>

<p>田辺委員長</p>	<p>せん。</p> <p>年度目標については、新生児訪問回数を産婦・新生児各 400 回としていた目標数値を全数訪問に変更しました。また、BPプログラムにつきましては、昨年度、児童館の指定管理者を主体に実施していましたが、今年度は南区の区づくり事業として実施いたします。</p> <p>次に 2 ページをご覧ください。小項目の「地域で支えるゆとりを持った子育てができるまち」についてです。昨年度までに実施した各種事業で、地域住民全体で子供を育む意識の向上、子育て中の親子の居場所の確保など、支援につながる成果が見込まれますので、実施内容に大幅な修正はしておりません。</p> <p>年度目標では、一番下の子育て支援リーダーの育成について、今年度の人数を現状維持としておりますが、子育て支援リーダーを対象とした研修会の実施などによりましてスキルアップを図り、より効果的な活動を目指し活動していく予定にしております。</p> <p>次に、3 ページをご覧ください。小項目の「子育て支援施設・事業の充実」についてです。これまでに、子供に関する悩みについての相談や子育て世代の横のつながりのきっかけづくり、子育て支援施設や事業の内容の周知に努めたことで一定の成果が見られております。小項目全体では、実施内容に大幅な修正はしておりませんが、ファミリー・サポート・センターに関わる目標を、これまで登録者数としておりましたが、より利用実態が現れる延べ利用者数に変更しております。</p> <p>以上、児童・子育て支援について終わらせていただきます。ありがとうございました。</p>
<p>事務局</p>	<p>次、4 項目ございますので、質問やご意見は説明が終わった後にお伺いいたしますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>それでは、引き続きまして、障がい福祉分野について、ご説明をお願ひいたします。</p> <p>障がい福祉担当の障がい福祉係の関本と申します。よろしくお願ひします。</p> <p>令和 2 年度の障がい福祉支援の取組みについて説明いたします。</p> <p>4 ページをご覧ください。目標である大項目の「障がいのある人もない人も安心して暮らせるまち」について、4 ページから 6 ページまで三つの小項目に分けてまとめてあります。小項目全体では、実施内容や年度目標数値など、大幅に修正する必要がないことから、令和 2 年度も平成 31 年度と同じ内容で実施していく予定です。</p> <p>まず、小項目「福祉サービス利用の相談体制充実」をご覧ください。</p>

	<p>平成 31 年度では、障がいに関する相談の窓口である基幹相談支援センター秋葉の周知を図るために、区だより、社会福祉協議会だよりに掲載するほか、研修会を通して周知を行ってきました。どこに相談したらよいか分からないといった方を少しでも救えるよう、令和年度も継続して周知を図っていく予定です。</p> <p>続きまして、5 ページ、小項目「障がいのある人と地域が交流できるまち」についてです。平成 31 年度では、地域の人たちへの障がいに対する理解と、地域の受け皿づくりのため、地域の行事に参加できるよう呼びかけをお願いしてきました。令和 2 年度も、引き続き行っていく予定です。</p> <p>続きまして、6 ページ、小項目「自立支援体制の充実について」です。平成 31 年度では記載のとおり、計画した内容を実施することにより、地域の課題の解決に向けて話し合える環境の整備の推進という課題に向け、生活課題への早期支援に関係機関と情報共有を進めてきました。来年度以降も同様に続けていく予定です。</p> <p>以上、障がい福祉支援の取組みについての説明を終わります。</p>
田辺委員長	<p>続きまして、高齢者福祉・介護支援分野におきまして、説明をお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>健康福祉課高齢介護担当の高橋と申します。この 4 月から南区でお世話になっております。よろしくお願いいたします。</p> <p>私からは、高齢者福祉・介護支援についてご説明いたします。</p> <p>資料 1 の 7 ページをご覧ください。目標である大項目「高齢者が安心して暮らせるまち」について、7 ページから 9 ページまで三つの小項目に分けてまとめてございます。</p> <p>まず、7 ページの小項目「高齢者・介護者を支えあうまちづくり」をご覧ください。この小項目での前年度からの変更点といたしまして、取り組み番号④区・圏域ケア会議を利用したネットワークの支援のうち、年度目標数値の項目につきまして、前年度は区域におけるケア会議の目標開催回数を 2 回としておりましたが、令和 2 年度はこれを 1 回とさせていただいております。こちらにつきましては、前年度実績で区内 3 圏域におけるケア会議を多数開催したことによるもので、その分、区域におけるケア会議の開催回数を減じたものです。その他の取組みにつきましては、前年度からの変更はございませんが、以下、各取組みについてご説明をいたします。</p> <p>緩やかな見守りを行う取り組み支援として、今年度も地域からの要望により、見守り活動実施検討支援や地域の集いの支援などを行って</p>

参ります。

続きまして、高齢者・介護者支援体制の周知につきまして、地域包括支援センターや介護教室の周知は、行事のたびに行っておりますが、より多くの方々から参加していただけるよう、今年度も機会をとらえて周知を続けてまいります。

介護教室の受託事業所の開拓も委託事業者数の3か所継続を目標に引き続き、取組みを進めていきます。

続きまして、8ページの小項目「高齢者の健康づくり・介護予防の推進」についてご覧ください。こちらの小項目につきましては、前年度からの変更点はありません。以下、各取組みについてご説明いたします。

平成28年度からミニドック型集団健診と「はかろう体重！大作戦」を新たに実施したほか、ほかの取組みも計画どおりに実施して、区民の健康づくりへの関心を高めました。令和2年度も引き続き実施してまいります。取組み番号①地区での健康づくり講座のフォロー講座実施（ウォーキング講座）については、運動をしようとする人しか集まって来ないという問題点がございまして、より多くの方から関心を持っていただけるように、平成29年度から口腔機能向上を入り口に、運動に対する動機づけを目的とした講座も併せて実施をしております。うまくウォーキング講座へつなげることができておりますので、令和2年度も同様に実施してまいります。

次の小項目でございまして、9ページ目をご覧ください。こちらの小項目「認知症の予防と対策」となっておりますが、こちらにつきましては、前年度からの変更点といたしまして、取組み番号②キャラバンメイトのネットワークづくりの年度目標数値の項目につきまして、前年度の2回から回数を1回に変更いたしました。認知症サポーターの養成を目的に平成27年度に立ち上げました南区のキャラバンメイト連絡会は、昨年度末をもって解散いたしました。これは今年度から公益社団法人新潟県介護福祉会が、新潟市認知症サポーターキャラバン事業事務局業務を受託したことによるものであり、今後は個々のキャラバンメイトの方と新潟県介護福祉会との連絡調整役として、引き続きネットワークづくりの取組みを行っていく予定です。その他の取組みにつきましては、前年度からの変更はございませんが、以下、各取組みについて説明いたします。

認知症予防出前講座ですが、地域で運動ボランティアとして活躍している運動普及推進員にご協力を頂き、地域の茶の間等へ出向きまし

<p>田辺委員長</p>	<p>て運動に加えて脳トレなどを実施するものです。</p> <p>認知症サポーター養成につきましては、前年度に 15 件の申請を受理いたしました。増加する認知症への対策といたしまして、今年度も引き続き周知・啓発に努めていきます。</p> <p>認知症カフェの開催ですが、年度目標数値自体は昨年度同様 12 回の開催としておりますが、コロナ禍の影響もございました。すでに 4・5 月の開催は中止となっております。6 月からは次の土曜日から再開の予定となっておりますが、今後も引き続きコロナウイルスの感染状況を注視しながら、定期的な開催を目指していく予定としております。</p> <p>以上、高齢者福祉・介護支援の取組みについての説明を終わります。最後の大項目となりますが、地域づくり分野について、説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>地域づくり分野の説明をさせていただきます。南区社会福祉協議会ボランティア市民活動センターの漆原です。よろしくお願いいたします。</p> <p>地域づくりでは、資料の 10 ページから説明させていただきます。小項目、地域のボランティア活動の場発信と活動支援になっております。</p> <p>ボランティアルームの利用方法の検討及び利用性の向上については、現在、白根健康福祉センターを利用していないボランティア団体に情報提供を随時行っていきまして、利用している団体からは、情報収集を随時行っているという形です。</p> <p>ボランティア情報誌（紙）の発行は、引き続き年 2 回の発行を実施いたします。</p> <p>交流会につきましては、今年度、プログラムに活動発表を盛り込んだことで団体間の理解と交流が深まったことから、令和 2 年度も同様の方向での開催をしたいと思っておりますが、交流のところのところコロナ禍のことがございますので、その辺、工夫をしていきたいと思っております。また、講座や研修につきましては、令和 2 年度はボランティアの受援力を高めるところに力を入れて実施したいと考えております。</p> <p>また、福祉教育については、より子どもたちの心に届くプログラム開発を行うとともに、企業や団体等に向けても、福祉、ボランティア、災害ボランティアセンターといったものについて、理解を深めていただける福祉教育を実施していく予定です。</p> <p>令和元年度は、青年会議所新潟県ブロックとともに、広域連携の合同災害訓練を実施しようということで準備を進めていたのですが、台</p>

	<p>風 19 号の影響で残念ながらその実施はかなわないということがありました。令和 2 年度は、それらを視野に入れ、災害ボランティアセンターのスキルアップを図る内容の研修を実施する予定です。その際も、コロナ禍における災害ボランティアセンターという点も資材に含めていきたいと考えております。検討委員会の開催につきましては、訓練実施月を除いた隔月で、訓練の方向性について検討を重ねたいと考えています。</p> <p>続きまして、11 ページの地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン活動の支援を説明させていただきます。令和元年度も実施内容の取組みを行いました。</p> <p>地域の茶の間・いきいきサロンの参加者は圧倒的に女性が多く、男性の参加者をいかに増やすかというところが課題となっておりかなり長いのですけれども、②の男性を対象とした交流会の開催を実施していきたいと考えております。</p> <p>広報については引き続き、前年度と同様とし、地域の実情に応じた茶の間の支援並びにお茶の間・サロンの活動が充実するよう支援していきたいと思っております。よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>続きまして、12 ページ、小項目の避難行動要支援者支援体制の充実については、所管課である地域総務課が欠席のため、私のほうで代読させていただきます。</p>
	<p>令和 2 年度につきましても、役員が交代しても災害時の要支援者の支援体制が円滑に取れるように、要支援者名簿の引き継ぎや自主防災訓練などでの要支援者の確認などを行っていただけるよう自主防災組織や自治会・町内会へお願いしていきたいと思っております。</p> <p>また、白根高校の生徒を対象としました防災ボランティア講座につきましても、今年度についても地域の方や防災士に公開し、地域の助け合いの意識の向上を図っていきたいと考えております。簡単ではございますが、以上となります。</p>
田辺委員長	<p>今、事務局から令和 2 年度の計画について説明がございました。この機会でございますので、ご意見なりがありましたら、遠慮なく挙手のうえ、質問をお願いいたします。</p>
長谷川（茂）委員	<p>せっかくですので質問したいのですけれども、地域の茶の間ですが、どうしてもやはり男性が少なく、女性が多いという形だと思います。女性も近年、うちの地区では、新しい方がなかなか入らない。これは老人会を含めても同じようなことで、年齢層も同じかもしれないのですけれども、地域の茶の間の年齢の対象者ないという形なのですが、</p>

	<p>現実にはやはり高齢者が参加しています。女性も方も近年、新しい方がなかなか、高齢になってやめる方がいて、足が利かないでそこまで行けないという課題があって、今までは来ていたのだけれども、身体の影響でそこまで行けないからやめるわという事例も多々見えてきたのですけれども、そちらとしては、男性のメンバーを増やすといった活動も含めて同じだと思うのですけれども、特に男性は消極的なのでしょうか。目的がないと、男性はどうしても行かないのです。行かないがちというか、自分で我がありますから、多分、目標があれば行くかもしれませんけれども、女性の新しい人に参加していただくということと、男性に参加してもらおう対策というか、広報というものはどういったことを考えられているか。もしあれば、参考に聞かせてもらえれば助かります。</p>
<p>田辺委員長</p>	<p>ありがとうございました。茶の間の件で回答をひとつお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>南区社会福祉協議会の荏原です。今年度、茶の間の担当をしておりますので、私からお話しさせていただきます。</p> <p>確かに男性で地域の茶の間に参加される方がすごく少なく、ちょうど、私たちの中でも話をしていたところだったのですけれども、先ほど、委員からもお話があったように、男性だと目的があったり、学びの場だったり、役割があったり、そういったところがあると参加しやすいのかなと考えておまして、またそういったところは地域によってもいろいろな活動等があるの中の茶の間ということもありますので、こちらとしてもいろいろプログラムというか、何か取り入れられるような例があればいいかと思っています。また、地域の特性に対してのことになっていくかと思っておりますので、一緒になってプログラムを考えていければとなっております。今年度も取組みを考えておりますので、また地域のほうでいろいろご意見いただければというところでさせていただきます。</p>
<p>田辺委員長 長谷川（茂）委員</p>	<p>長谷川さんいいですかね。</p> <p>よくないけれども、いいです。分かったような、分からないようなのですけれども、事例があればと思ったのですけれども、概要はそんなものなのでしょうけれども。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。3月まで、それこそ茶の間の担当の地域包括ケア推進課にいましたので、取組みをお話ししたいと思います。</p> <p>確かにおっしゃるとおり、どこの茶の間も男性の参加がなかったり、それこそ足が悪くなったりと先ほど話がありましたが、高齢になって</p>

<p>小林委員</p>	<p>なかなか参加しづらいとか、逆に若いだとたくさんやることあって、ただ単におしゃべりだけでは行かないわという話も多数聞いています。先ほど、荏原さんもお話ししたとおり、目的があって、自主的に参加したいということをどうやって作り出すかということは、課せられた課題なのだろうなということで、我々は取組みをやってきました。そんな中で、先ほども映像を見てもらいましたけれども、モデルハウスという取組みもあって、このようにやったらいいのではないかと、具体的なお見せしていくということが大事だと思っていますので、私も南区に来ましたので、先ほどの天昌堂、また今、コロナの関係でなかなかできませんでしたが、お話を、具体的な、皆さんが自主的にいきたい、ぜひいきたい。足が悪くても、私でもやれることがあるとか。男性も皆さんもこういったことお手伝いできるとか、そういったことを通して健康になったりといった助け合い、また交流だったりを目指していきたいと思いますので、私のほうでも今、頂いた意見は重々承知していますので、社会福祉協議会と一緒にやっていきたいと思いますので、またご意見を頂ければと思います。ありがとうございます。</p> <p>今、茶の間の件でもう一点ですが、私は臼井で茶の間を何とかやりたいということで2年くらい前から考えているのですけれども、どうしても臼井のほうも二つ、三つ、茶の間はあるのですけれども、小さい個人の集まりのような茶の間が多いので、どうしてもそこに新しい人が入れないということがあるので、今、高齢者と高齢者になりそうな人。また、子どもが集まれる茶の間を考えているのです。その中で、どうしても茶の間となると補助が少ないのです。だから、もう少し茶の間に関しても補助率をもう少し上げるような考えをしていただきたいのと、いろいろな補助をくっつけていけるような感じでやっていただければ、一番大変なのは運営なのです。運営にお金が足りなくて、結局は集められなくなるということが多いので、そういう面でもう少し社会福祉協議会も区も考えてもらいたいということが一点です。</p> <p>天昌堂をあれだけやったということは、最初、作るときもお手伝いしたのですけれども、ほとんどボランティアなのです。内装を全部やったり、本間さんやいろいろな方のほとんどボランティアでやっていて、私も調理場などを作ったりもしましたので、大体、ボランティアなのです。だからボランティアだけでできるものではないと思いますので、そういうところに茶の間を作る段階で、どうしてもある程度の大きさのおうちを借りなくてはいけないし、維持をしなくてはいけない</p>
-------------	--

<p>西村委員</p>	<p>ないということで、なかなかアクションプランと支え合いのしくみづくりは違うのかというような声を地域の方からたくさん頂きました。ただ、この地域福祉アクションプランというものが、福祉の分野では上位計画として法律の改正によって位置づけられています。ですので、この計画の中に支え合いのしくみづくりも入るという考え方ですので、次期3次計画につきましては、支え合いのしくみづくりも含めて考えていきたいと思いますので、もちろんコミュニティ協議会がやっている事業、地区社会福祉協議会がやっている事業、けっこうダブっているところがありますので、そこも次期計画の中に盛り込みながら、目的は一緒になると思いますので、そこは地域の皆さんと一緒に考え、いい方向といいますか、計画を進めていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。こんな感じでよろしいでしょうか。</p> <p>先ほど、茶の間でほうで、男性の参加が少ないというお話がございましたけれども、私どもの地区も実際、そうなのです。男性が少ないということと、もう一点、若手のリーダーが少ない。先ほど、事務局からもお話がございましたけれども、若手の方も、実際にやろうという人はけっこういるのです。ただ、その仕組みづくり、これをやりたいなというものをどう言ったらいいか分からない、参加できるかということが分からないということなので、今、こういう時代ですので、情報発信をしていただいて、若手の人は情報はシビアですので、SNSを使ったり、地域で情報をいろいろやったり、そういう長けた人は非常に多いと思うのです。その辺も、どこのプランもそうなのですけれども、我々はだんだん年を取りますので、リーダー育成というか、そういう施策といったものもお願いしたいなと思ひまして、お話ししました。</p>
<p>田辺委員長</p>	<p>ありがとうございます。時間もありますので、この辺で。また最後にそういった機会もございますので、次に進めたいと思います。</p> <p>このように今回、提案申し上げました内容で、平成2年度、今のご意見も含めた中で、進めてまいりたいと思いますので、よろしく願いしたいと思います。これは、第2番目の議事については終了させていただきます。</p> <p>続きまして、議事3、地区別計画の取組み状況についてということで、地区別計画の中に一緒に入っています12地区の計画について、年度ごとの推進委員会への報告とともに、報告内容を各地区へ情報提供し、さらなる計画の推進につながるようにしようということで、各地区の取組み状況並びに評価についてご報告いただきたいと思いますと思ひており</p>

金子委員	<p>ます。資料3となります。各地区の代表の委員から説明をお願いしたいと思います。時間も押しておりますので、1地区3分以内でご説明を頂きたいと思っております。</p> <p>それでは、最初は名簿のとおり新飯田地区からやっていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。資料2でございました。</p> <p>ここに記載してあるとおりでございまして、昨年になりますけれども、2019年12月に社会福祉協議会のメンバーが集まりまして、取組みの状況など確認いたしました。いろいろ話が出たのですが、とりわけ平成27年度からずっとご覧いただければ分かりますけれども、ほとんど取組みができなかったものが評価としてA評価が増えてきております。それだけ活動があったのだなと位置づけさせていただきました。高齢者へのアンケートなども実施いたしました。心配をしていたのですが、今回は若い世代と言いますか、若者と年寄りが同居している人たちへのアンケートも実施いたしました。その中でいろいろ衝突する部分があるのかなと心配していたのですが、それらは心配だけで終わって、非常にいいアンケート結果が出たと感じております。以上、簡単ですが、報告させていただきます。</p>
田辺委員長	<p>ありがとうございました。</p>
上杉委員	<p>続きまして、茨曾根地区申し上げます。</p> <p>茨曾根地域では、高齢者の楽しい地域づくりということで、地域の茶の間の知名度は、地域の方に十分伝わるようになったと実感しております。ただ、地域性によりまして茨曾根は農村部ですので、いくら高齢のおばあさんでも、おじいさんでも、お仕事があります。自分のための働く場所がある地域でのお茶の間は、やはり月1回が限度かなと感じているところです。ただ、月1回ですので、集まりは非常にいいということで、今、頑張って老人クラブ及びお茶の間活動をやっているのです、評価はAといたしました。</p> <p>子どもを見守るところに関しましては、毎年、新しい見守りボランティアということで、登下校を見守るという活動も行っておりますが、実際に時間帯が分からないということもあって、セーフティスタッフとなっておりますのは、見守りです。ここらに関しては、もう少し明確な活動ができればということで、B評価にいたしました。全体的には、評価はすべて○ということになりました。</p>
田辺委員長	<p>ありがとうございました。</p>
中丸委員	<p>続きまして、庄瀬地区お願いいたします。</p> <p>正直言って、前年と比べていただけると分かると思いますが、全く</p>

横並びでございます。1年間全く仕事をしなかったのかと思われるかもしれませんが、正直、中には前年度に学童クラブが施行されたものが本格運用になったり、内容的には相当レベルアップした部分もございますし、私ども、居場所づくりということで、5項目あげていたわけですが、やはりこれは関連していて、一つできれば、お年寄りだけではなくて、若い人とも交流できると。特に今、庄瀬の場合は、地域生活センターのロビーを若い人たちがDIYで改造してくれまして、人が寄れるような形になりました。センターの利用率も非常に上がっていますし、そこで学童をやっている関係がありまして、このたびのコロナの最中も、学童は、それこそ通して解消しておりました。それにまた地域の者が時間割を作って、初動を教えたり、いろいろなことを地域の方が見守りをやっていたいております。そういったことで、内容的には高まっているのではないかとということで評価しているのですが、一応、もう一年あるし、励みにもなるということで、Aはつきませんでした。取組みとしては全部しているということでございまして、仕上げの年だねと言っていたところに、このたび、コロナで3か月、立ち上げで、春のまつりなり春の事業がみんな中止になりました。

それから、先ほどから年寄りの男性の方の寄る場所がないということがありましたが、私どものところでも、老人会という言葉に対するアレルギーも大変ありまして、以前、三つあった老人会が今、二つということでございますが、その代わり今度、そこにもあります、将棋の会だとか、こういったものが立ち上がりまして、庄瀬は16の地区の集会所がございまして、そこを借りて、それこそ週1回の将棋会が開かれています。ピンポンの会は放課後、学校をお借りして開催しております。これは男性、女性かかわらず参加していただいております。非常に交流の成果が上がっていると評価しています。庄瀬は24の自治会がありまして、南北に非常に長い地域でございます。そうしますと、一つの地域に皆さん、高齢者の方が寄ってくれということが、なかなか難しく、小さいところは12世帯で一つの自治会を持っておりますので、そうするとなかなか世話する方、また寄っても何人寄れるかなというと限度があるということで、一応、ブロックで自治会も五つのブロックを構成しております。その五つのブロックの方と民生委員が5人いらっしゃいますので、それらが連携して、見守りを充実させていきたいということは、今年度の目標として挙げております。

ただ、大項目に挙げてあります中で、災害時の支援体制というもの

	<p>がございます。この事業も始まって12年たつわけですが、正直言って、庄瀬は自主防災組織の立ち上げが早かったです。ただ、皆さん、高齢化しまして、当初、見守る立場だった、高齢者を隣の人が支えるという人たちが老老になってしましまして、支えるほうが支えられるほうになって、支える人間はいるのかといたら、日中は本当に若い人がいません。こんな中で、避難所が以前より減りました。中学校がなくなりました。保育所がなくなりました。避難所がなくなって、遠くになった関係もありまして、どうやって避難するのだという非常に悩ましい問題もございまして、これからまた防災会との協力ということも考えていけないといけないのかと考えているところでございます。</p>
田辺委員長	<p>ありがとうございます。</p>
	<p>続きまして、小林地区お願いいたします。</p>
西村委員	<p>一点だけお話ししたいと思います。</p>
	<p>小林地区では、昨年度、評価をしまして、皆さんから自治会やコミュニティ協議会などからいろいろ集まりまして、その中で、支え合いのしくみづくり、要は高齢者の困っている人を何とかしたいねというお話がございまして、実は、準備を始めていまして、この4月から「お助け隊こぼやし」という組織を発足しました。実は、今日、朝起きたら、こういうパンフレットが入ってまして、これは多分、小林地域で2回目の回覧板が回ってまして、実際に4月からスタートしています。まだ実績は4月から1件しかないのですけれども、要は高齢者ひとり暮らし、小林地区では80名くらいいらっしゃいます。高齢者だけの世帯が13パーセントおります。その人が、何か困っているのではないかとことを各委員、民生委員、近所の方、だれでもいいのですけれども、困っているよ、助けてくださいということで手を挙げていただく。それに対して、協力隊といいますか、今、人員が16名参加しています。これはほとんどボランティアなのですが、一応、有償ということで500円ということでやっています。内容は、高齢者ですから重いものを持ってないとか、足腰が悪くてごみ出しができないとか、そういうときに小林地域生活センターへお電話いただいて、そこのスタッフが手配して協力してくれる人を日時など打ち合わせをしてやるということになっております。お助け隊といいますか、要は支え合いのしくみづくり。これは以前からずっとありましたけれども、南区版ではなく地域限定の結びつきといいますか、そういうものを広めていこうということで今、やっております。</p> <p>全体的に評価としては、ほとんどAなのですけれども、今年度から</p>

<p>田辺委員長</p>	<p>でも推進目標を具体的に決めてやっていきたいと思います。</p> <p>この回覧板を回しますので、よかったら見ていただきたいと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>続きまして、臼井地区の小林さんからお願いします。</p>
<p>小林委員</p>	<p>臼井のほうは、私が、この2015年から今年にかけて会長をさせていただきましたので、その中で一番最初は、茶の間関係については、コミュニティ協議会との連携が少なかったもので、支援等ができなかったということがございましたので、今年度はBにさせていただきました。そのほかの点につきましては、コミュニティ協議会との事業または連携ということで、各中学校、小学校とまた連携し、地域の福祉団体とも連携して、事業も進めさせていただきましたので、A評価とさせていただきます。ですので、本年度についても、改めまして同じように進めていきたいと思っておりますし、また茶の間関係の方々とも連携していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>田辺委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>続きまして、大郷地区から。</p>
<p>長谷川（晴）委員</p>	<p>今までの報告をさせていただきます。</p> <p>「なじらね〜？と声をかけあう大郷地区」と銘打ちまして、活動を取り組んでまいりました。過去6年前まで長く、前任の遠藤さんという方が担当してくださってございまして、私、昨年よりこちらに携わらせていただいております。以前の遠藤さんの功績がととてもすばらしくて、発足当初は評価もそれほどというB評価だったり、C評価だったりあったのですが、年を追うごとにだんだん成果を上げてきてまして、令和元年度では大体、全部、掲げてきたものに対して、A評価という評価を頂いております。</p> <p>そこで支えあい関係づくりといたしまして、近隣の方とのコミュニケーションであったり、いろいろと課題を挙げているのですが、もともと大郷地区も農村地区でありまして、昔からの世帯が多くて、ご年配の方は農業という仕事をしている方も多いですし、隣組との結束も強いので、割と老老世帯の方であったり、一人で住んでいらっしゃる方もいるのですが、コミュニティ協議会のほうで声をかける前に、まず隣組の方々がお互いにお互いを支え合うという関係ができています。お茶の間のほうにしても、どこも課題は共通なのですが、男性の方の参加は、やはり少なく、かといって年を追うごとに認知もされてきてございまして、お茶の間の開催とともに、参加人数も徐々には増え</p>

<p>田辺委員長</p>	<p>ているようですし、新しく開設された場所もあります。ですので、今までやってこられた、この状況をいかに維持していけるかということが、これからの課題になります。安心して暮らせる地域づくりですが、災害時の仕組み。先ほどからもいろいろと声は出ております。新型コロナウイルスの関係で、これからが災害とともに、災害時でどうやって自分たち、周りの身を守っていくかということが、ますます私たちに求められる課題でもあると思いますので、そこは皆さんと十分、協議していただいて、お力を借りながら事業を進めていきたいと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、根岸地区から。</p>
<p>丸井委員</p>	<p>評価を見ていただいたとおり、例年とあまり評価は変わっておりません。12ほどある小さな自治会が多く集まっている地域であります。その地域ごとにいろいろな取組みの様子も差がありまして、そうしたものを掌握していくと、昨年度、新たにお茶の間というようなものが北田中自治会で新規にできたということで、交通安全や健康に関する講座を開催して、あるいは映画鑑賞なども実施したということで、参加人数も記載しておりますが、そうしたものが新たにできたということです。ただ、この地域は多くが農業従事者の地域でありまして、その中でのお茶の間ということもなかなか広がっていかないと。地域の中でのコミュニティが固定化しているような実情がありまして、その中での参加希望というものは、なかなか増えないということが実情です。</p> <p>また、高齢化という言葉が先ほどからありますとおり、この根岸地区でも高齢化が進み、その中でのお茶の間の規模も先細りしているのではないかという懸念もございます。そんな中で、進行のある地域がどう新しいサークルなどを立ち上げていくのが課題となるわけですが、なかなか広がっていかないとということが実情です。</p> <p>また、リーダーの育成についても、これも相変わらずですけれども、その点が新たな人材がなかなか出てこないということが、この地域の課題というところです。</p> <p>イベントごとについては、あやめ祭りや、その他小・中学校と協力した事業がありまして、そういったところでの事業が、相変わらず活発に行われているというところです。</p>
<p>田辺委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、大通の長谷川さんお願いします。</p>

長谷川（茂）委員	<p>見ていただいたように、大通の評価は、今年度はB評価です。可もなく不可もなくという75パーセント以上という形ですので、全体的には個々に計画みたいなことなのですけれども、活動はやっていると思います。その中で、今回、時間がないので、隣近所との協力体制や災害時に対する避難体制の確立という項目ですが、災害時の要支援者に、うちは12自治会あるのですけれども、中に複数つけて昼と夜という形。あとは一人だとどうしても可能性というか、2人よりは1人のほうが少ないので、一応、2人体制という形で、災害時のときに声掛けというものをしているところがあります。</p> <p>もう一点が、昨年、火災がありまして、緊急のときの電話の固定です。個人情報うんぬんというものがあって、中にうちの町内は、全部地図に名前と電話番号がきちんと書いてあるのですけれども、やはり何かあったときに固定でしないと、緊急のときは通じないということを経験しましたので、うちの自治会のほうでは、了解を得て、携帯で登録してもいいかどうかということ打診したようなものを回して、今、名簿を作っているのですけれども、やはり何かあったときには、そういった問題を含めて、これも皆さんの協力がないとできないと思うのですけれども、一応、自治会にそういう形で何回か確認しまして、災害ですから、緊急のときにはすぐつながるといったものを踏まえてやっていきたいと思います。</p>
田辺委員長	<p>ありがとうございました。</p>
小柳委員	<p>続きまして白根地区の方お願いします。</p> <p>10ページです。白根は「みんなにやさしいシロネもん」ということで活動しております。白根は大きいという関係で三つの区域に分かれて活動していますので、その長の方に集まっていただき、評価したという形になります。ご覧のとおり、だんだん年ごとに評価は上がってきております。令和1年度にA評価が増えたのは、地域の茶の間が一つ増えたということで、よかったね。そういう意識があったのだねということで、A評価になりました。ただ、課題としては、自治会長の真ん中のところにずっとBが並んでいますけれども、自治会長の引継ぎの問題や自主防災の問題など、高齢化によって小さな自治会が活動しにくくなっているから、自治会の再編も必要なのではないかという課題が出ております。また、今年度はそれに基づいて活動していければと思っております。</p>
田辺委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、味方地区お願いします。</p>

<p>仲山委員</p>	<p>「なじらねばかい～ねいきいきふれあいささえあい味方地区」という長い名前の会ですけれども、先ほどから皆さんがいきいきに開催されても、男性が少なかったりいないということもあるのですけれども、私たちのところでも、味方は割と早いころからお茶の間が開催されて、現在、9か所あるのですけれども、やはり女性が多くて、私のいる吉江地区では、月1回でも募集をしても、最初のころは男性の方もいらっしまったのですけれども、今は全くいなくて、男性を呼ぶにはどうしたらいいかということで、昨年から老人会と一緒に、月1回あったいきいきのお茶の間に月2回にして、もう一回の1回目にはピアノをやって、よそへボランティアに行ったりもしているのですけれども、ピアノのときには、ピアノをやらない人はお茶会をしているということで、男性もたまには来るようになりました。</p> <p>それに附随して、老人会に入っている方々が、味方の人たちは、うちの宝だという笹川邸なのですけれども、年1回草取りや中学生なども参加する年末のすす払いをしております。ただ、老人会の活動に積極的に参加するというのが、昨年に比べてBになったのですけれども、輪投げなどは参加者が増えているのですけれども、老人会に参加する人がいなくて、どのようにして会員を増やすかが問題になっています。</p> <p>A評価からBになったのが、障がい者との交流のことなのですけれども、小中学校では、先ほど、スライドにもありましたけれども、視覚障がい者などといったことは、学校では取り組んではいるのですけれども、一般の方が障がい者と接することが少ないのです。それが何かで取り組んでいかれたらいいと思っています。</p> <p>地区の敬老会は、お年寄りが最大の楽しみにしていることなのです。参加者もものすごく多いのですけれども、中には前にあったような、体育館で3地区と一緒に合同でやるのが懐かしいという方もいるのですけれども、今、バスが出ないので、それが少しもの足りない。合同でやれば、各地区の離れている人も懐かしいねとって、そういうこともやりたいというのですけれども、それが物理的に無理なところもあるのですが、今年は、敬老会が中止ということで、ものすごく残念がっております。</p>
<p>田辺委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>続いて、月潟地区ですが、泉田さん、今年から、初めてということで、私のほうから月潟の件について説明いたします。</p> <p>「あいさつ声かけ思いやりつながりふつつ獅子の里」ということ</p>

事務局	<p>で、ばかいいのですけれども、中身の評価につきましては、A、B、C、Dまでバラエティにそろっております。皆さん、聞いておきますと、ほとんどの地区がA評価、B評価ということで、D、Cなどほとんどないような感じでしたけれども、うちの地区でC、セーフティスタッフの活動を充実させようということで、これもなかなか限られた人たちのボランティアでセーフティスタッフをやっておりますが、小学校の登下校の時の見守りというか、そういうものが今少しだなと。評価の仕方も厳しいのではないかと思うのですけれども、頑張っております。</p> <p>茶の間の件が出ておりますけれども、うちの茶の間は、二つの茶の間にしましては、世代間交流をやったり、毎週、頑張っていたりということで、特記する一番下はAランクになっております獅子の里。これが今、コロナで休業しておりますが、2・7の市の日に、月潟の市の立つ真ん中あたりに、昨年から始めたのですけれども、市に買い物に来られた人たちを対象に、月に一遍だけメディカルスタッフの協力のもと、健康講座などを行っている関係で大勢集まってきているという状況でございます、これがうまくいっているなということでございます。</p> <p>運動会を盛り上げようというのがありますが、運動会2年目に市の予算を削減された関係で、それであればやめようということで中止になりまして、Dランクでございます。それでも、小学校の運動会に合わせた中で、地域の住民も参加するような認識で、これも残していきたいということを考えております。</p> <p>続いて、ふれあいスクールがDなのですけれども、これはふれあいスクールが、小学校の関係のボランティアなのですけれども、学校の都合で中止になりましたことで、来年は削除しようかと思っております。以上でございます。</p> <p>これで、一通り12地区の説明が終わったわけでございます。各地区、聞いておきますと、非常に立派に活動されている地区、あるいはいま一度ということで、皆さん代表の方が一生懸命頑張っているなということがありましたけれども、その中で各地区に聞いてみたいということがございましたら、挙手で質問を頂きたいと思っております。ありませんか。ないようでしたら、次の議事に進みたいと思います。</p> <p>次の議題（4）新潟市の地域福祉に関するアンケート結果について、事務局からお願いしたいと思います。</p> <p>令和元年度新潟市の地域福祉に関するアンケートの結果について、</p>
-----	--

<p>田辺委員長</p>	<p>簡単ではありますが、報告をさせていただきます。以前送付をさせていただきました資料3をご覧ください。</p> <p>このアンケートですが、昨年度本庁福祉総務課で行った全市のアンケートであります。無作為ということで4,000人に対して送付して、約半数の2,000人弱から回答を得ております。うち南区居住の方は101人という結果になっています。本日は、時間の関係で詳細までは説明いたしません、このアンケートの結果により見えてきたのが、南区はご近所とのつきあいやつながりを大切にしているという様子をうかがい知ることができました。このアンケートは、今後、分科会等開催されますので、そのときの参考資料としていただければと思います。</p> <p>この件につきまして、何か聞きたいことがありましたら、事前に配付してありますので、気づいたことや聞きたいことがありましたらお願いしたいと思います。ないですか。それでは、先に進めさせていただきます。</p> <p>(5)の次期計画策定のスケジュール2次修正(案)についてでございます。説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、次期計画策定のスケジュールを説明させていただきます。資料につきましては、以前送付した資料4がありますが、コロナの影響でスケジュールが変わりましたので、差し替えとなる本日配付した資料4で2次修正(案)ということで説明させていただきます。</p> <p>左端に項目がございまして、上から市議会・自治協等、市地域福祉計画、南区地域福祉アクションプラン推進委員会、計画策定工程と表記しています。時間の関係で主なところだけ説明させていただきます。</p> <p>2段目、市地域福祉計画のスケジュールからです。現在、新潟市の地域福祉計画策定については、本庁福祉総務課が策定する全市の計画版が1本、各区が策定する区版が8本、合計9本の計画を作ることになっています。前をご覧くださいと思います。これが9本、本庁が作るオール新潟の地域福祉計画です。この中に今、南区のアクションプランの冊子も入っていますけれども、北区から西蒲区まで八つの区版の地域福祉計画があります。全市版の策定は、昨年度から動き始めて、基本理念・基本目標まで決めましたが、その後、コロナの影響で委員会が停止いたしました、7月10日から審議を再開し、12月のパブリックコメントを経て、最終確定となります。</p> <p>次に2段目、当南区アクションプラン推進委員会ですが、今年3月の委員会がコロナで中止。今年度第1回目の委員会が本日6月27日で、本日の次第にある内容を審議します。続いて、第2回目の委員会</p>

事務局	<p>を8月中旬に開催し、検討状況を報告する予定です。その後、9月下旬の第3回目に計画の素案を説明し、ここでもまた意見が出ると思われますので、11月の中旬に第4回目の委員会では、さらに調整した素案を説明し、さらに調整した後に12月のパブリックコメント、1月末に第5回目の委員会を開催し、パブリックコメントの結果を受けて、最終審議を行い、確定する運びとなっております。推進委員会の開催回数については、5回を予定します。</p> <p>次に4段目です。計画策定工程をご覧願います。昨年度、事務局内で目線合わせを行いまして、4月、5月、策定案を作成しております。今後は、推進委員会とは別に分科会を開催する予定です。分科会については、本日、この後に改めて顔合わせを行いますが、7月1日から8月11日の間をめぐり、開催回数は最大2回を予定させていただきます。ただ、分科会によっては、1回目がスムーズに終わり、2回目は書面開催でもよろしいのではないかなった場合など、分科会によっては1回で済む場合もあるかもしれません。したがって、開催回数については、最大2回ということをご了解いただければと思います。</p> <p>次に、5段目、社会福祉協議会が主体となっていく地域福祉活動計画。これは今、皆様方から発表いただいた地区別計画になりますが、今後、地区で座談会を2回程度開催し、現計画の振り返り、課題を基に次期計画の策定を意見集約し、9月上旬を目標に策定する工程となっております。ただ、今年はコロナの関係がありますので、開催回数及び協議方法等は地区によるものと思われれます。地区別計画の策定については、南区社会福祉協議会より補足説明がございます。</p> <p>担当の南区社会福祉協議会の横山と申します。</p> <p>それでは、地域福祉計画地区別計画策定のための各地区懇談会の件ですけれども、当初4月にコミュニティ協議会、地区社会福祉協議会、地区のアクションプラン推進委員の皆様にご説明会を開催したうえで、9月上旬までの間で2回の座談会を開催する予定としておりました。しかし、新型コロナの関係で計画が遅れましたけれども、これから少しずつ進めていきたいと考えております。ただし、当初の予定の2回または大勢での座談会開催は難しいと考えております。そこで今回は9月上旬までの間で各地区1回ずつ意見を伺う場を開催できればと考えております。ご意見を伺う範囲につきましては、コミュニティ協議会、地区社会福祉協議会の会長、地区のアクションプラン推進委員の皆様にご相談させていただきますけれども、各団体の代表10名前後でと考えております。地域生活センターと会場の状況も見ながら、人数</p>
-----	--

	<p>等を決めていきたいと考えております。この短い期間の中で、多くの意見を反映させることには限界があるため、地区別計画を、これから作っていくページのどこかしらの部分で、新たな課題や取組みを追加できる旨を明記して、できる範囲で今回、作っていききたいと考えております。そして、意見を地区で一回開催したものを社会福祉協議会で意見をまとめ、各地区と確認作業を進めながら、9月いっぱいを目標に、まとめていきたいと考えております。</p> <p>役割分担や方法などの詳細については、できるだけ早い時期にコミュニティ協議会、地区社会福祉協議会のそれぞれの会長と地区のアクションプラン代表者の皆様に地区担当がお伺いして、ご説明をさせていただきますけれども、その日程調整をアクションプラン推進委員の皆様からご協力を頂ければと思っておりますので、よろしく願いいたします。後ほど、地区担当より、地区のアクションプラン推進委員の皆様にお声をかけさせていただきますので、その際はよろしく願いいたします。</p> <p>なお、担当ですけれども、新飯田地区、鷺巻、味方、月潟地区は荏原が担当いたします。続きまして、茨曾根、小林、根岸、大通地区につきましては、私横山が担当いたしますので、よろしく願いいたします。続きまして、庄瀬、白井、大郷、白根地区につきましては、熨斗が担当いたしますので、よろしく願いいたします。</p> <p>以上でスケジュールの2次修正（案）の説明を終わりたいと思います。</p> <p>長々続いておりますが、このスケジュールの件につきまして、何かございました。</p> <p>今、5段目の各地区の日程計画なのですが、先日、コミュニティ協議会の会議で1年間の日程を決めさせていただきました。その中で、できるだけ会議は避けようということで、白井のコミュニティ協議会につきましては、今、各自治会を含めた総務委員会が7月と9月で終わりなのです。そのほかにまたこれを集めるということは非常に難しいと思います。</p> <p>分かりました。ありがとうございました。地区によって状況があるかと思っておりますので、その辺はすみません、地区担当と相談のうえ、どうしていくかということをご相談させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>ただ、9月末に全部決めてしまうということは難しいと言っているのです。</p>
田辺委員長	
小林委員	
事務局	
小林委員	

事務局 事務局	すみません、パブリックコメントの関係で。
小林委員	<p>今のご意見、こちらのほうもあらかじめ、そういうご意見が出るな ということは織り込んでおります。もうできない部分については、残 念ながら少し遅れるという部分もありなのかと思っております。その 辺のところにつきましては、できる範囲でパブリックコメントをして いきたいとは思っているのですけれども、地区によるものという部分 もございますので、また社会福祉協議会が後でまたくわしくご相談さ れるということがございますので、よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>何度も言いますか、コロナのこの事態で、緊急の策定をするという ことは難しいと思うのです。本庁のほうだけでも、これは一、二年の 計画ではないと思うのです。申し訳ないけれども、2021年から2027 年、多分6年だか5年計画だと思うのです。それをこの短い中で決め ていくことはやめたほうが良いと思います。だからもう一年遅らせる か、こういう事態なので、この2020年のものをもう一年引き伸ばして 2022年からの制定でしたほうが良いのではないかとと思うのです。</p>
田辺委員長	<p>今のご意見につきましては、大きなお話になりますので、一度、こ ちらのほうで、今日は回答ができないのですが、持ち帰らせていただ きたいと思います。よろしいでしょうか。</p>
小林委員	<p>では、そういう小林さん、ご理解いただきます。また、市のほうで もなかなか答えられないところもあるそうなので、私も言っているこ とは分かります。</p>
田辺委員長	<p>要はやっている人は、市役所、区役所の人だから、社会福祉協議会 もみんなそれは仕事なのです。でも、そのほかはボランティアなの です。ボランティアに緊急にさせることはだめだと言っているのです。</p>
事務局	<p>分かりました。そういう意見を承りますので、できる範囲でひとつ 進めていきたいと思っております。</p>
事務局	<p>長時間やってまいりましたので、ここでトイレ休憩ということで、 一旦、休憩を取りたいと思います。よろしく願いします。ほんの5 分程度でけっこうですか。</p>
田辺委員長	<p>今は、28分になりますので、33分ということをお願いしたいと思 います。よろしく願いします。</p> <p style="text-align: center;">(休 憩)</p>
田辺委員長	<p>ただいまより再開したいと思います。 続きまして、議事の(6)次期新潟市地域福祉計画の基本理念と基</p>

<p>事務局</p>	<p>本目標について報告を事務局よりお願いいたします。</p> <p>議事（６）の報告をさせていただきます。資料５をご覧くださいければと思います。</p> <p>先ほど、スケジュールのところでも申し上げましたが、本市の地域福祉計画は、本庁福祉総務課が市全体を俯瞰して策定する新潟市地域福祉計画もございます。それらの計画の基本理念と基本目標が決まったのでご報告をさせていただきます。資料５の左側からご覧ください。ざっくりとした見方なのですが、左側の項が現計画の内容です。真ん中の項が現計画の課題や新たに加える視点や考え方。そして右側の項が次期計画の基本理念と基本目標となっております。現計画の課題や新たなる視点や考え方を加味し、次期計画の基本理念・基本目標としています。右側の次期計画をご覧ください。市版の次期計画の基本理念ですが「みんなで創ろうだれもがつながり支えあい自分らしくいきいきと暮らせる福祉の都市（まち）『にいがた』」となっております。現計画の理念を踏襲し、引き続き取り組むため、さらに地域共生社会の実現を目指し、「つながり」「支えあい」やネットワークを強化する視点、お互いの個性や多様性を尊重するという視点を強調するために加えたものとなっております。ここで地域共生社会というワードが出てきましたが、この地域共生社会のイメージについては、資料６でポンチ絵を参考までにつけてあります。時間の関係で詳細な説明は割愛しますが、さまざまところとつながり、支え合いを持ちながらネットワークを広げるといふ新潟市における地域共生社会のイメージとなっております。参考までにご覧いただければと思います。</p> <p>次に、基本目標になります。基本目標の大項目は、ご覧の１番から４番の四つの目標となっておりますが、それぞれ大項目の下の小項目にあるキーワードとして、赤字で気づく、気づき、つなぐ、連携・協働、ネットワーク、活躍、続けるというワードがちりばめられております。ここで南区地域福祉アクションプランの本冊の８ページをご覧くださいければと思います。ここにはほかの計画と南区のアクションプランの関係性を図で表しています。８ページ左下の緑、青、赤、黄色で着色された計画が四角囲みされている新潟市が策定する計画をご覧ください。市が策定する計画パッケージの中には、さまざまな計画がありますが、その中に新潟市福祉計画も入っております。そのほかに南区の区ビジョンまちづくり計画やさまざまな分野別計画や行政計画が入っておりますが、今後、当委員会で策定する南区地域福祉アクションプランは、それらの基本的な考え方を反映し、皆様の意見も聴取して、</p>
------------	---

<p>田辺委員長</p>	<p>策定していくこととなります。市の基本目標を視野に入れながら、皆さんのお知恵を拝借し、南区の地域福祉アクションプランを策定していければと希望しています。</p> <p>以上で、次期新潟市地域福祉計画の基本理念・基本目標についての報告を終わります。</p>
<p>事務局</p>	<p>続きまして、(7)次期南区地域福祉アクションプランの基本理念と基本目標(案)について、説明をお願いしたいと思います。</p> <p>次期南区地域福祉アクションプランの基本理念・基本目標(案)について説明させていただきます。資料7をご覧ください。</p> <p>まず、資料7の上段の基本理念と基本目標から説明させていただきます。資料の左側上が現計画の基本理念・基本目標となっています。この現計画に新たに加える視点として、地域共生社会の実現を目指し、「つながり」「支えあい」、ネットワークを強化する視点、お互いの個性や多様性が尊重されるという視点を加え、次期計画の基本理念・基本目標としています。右側上の項をご覧ください。次期計画の基本理念(案)を読み上げます。南区において、地域の連帯を強め、住み慣れた地で安心して生活できるよう、誰もがつながり支えあい自分らしくいきいきと暮らせるまちづくりが、“ふるさと南”の創造につながります。また、こうした地域福祉の取り組みから、区民一人ひとりが生きがいを持ち、福祉活動で潤うまちを創りあげます。としてみました。案については、当委員会で決定された現在の基本理念に、誰もがつながり支えあい自分らしくいきいきと暮らせるという新たな視点を加えた基本理念(案)としています。</p> <p>次に、基本目標についてです。基本目標については、結論から申し上げますと、現計画と変えていません。その理由につきましては、この基本目標は南区の行政計画であります、南区区ビジョンまちづくり計画と整合させているからでございます。ここで資料7の補足をご覧ください。補足資料は、南区区ビジョン基本方針(抜粋)です。区ビジョンの計画期間は、平成27年度から令和4年度までの8年計画です。この区ビジョンの策定に関しましても、区民の皆様から多数参加していただき、南区の英知を結集して策定したものと伺っております。ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまち、区民の皆様から頂いた立派な目標でありますし、事務局としては、この区ビジョンの基本目標を踏襲しながら、新たな視点を入れていきたいと考えています。</p> <p>次に、分野別計画の説明に入ります。資料7の左側下の項、現計画</p>

の分野別計画が表示されています。現計画の取組みについては、さきの議題で説明済みですので、真ん中の現計画の課題などから説明いたします。最初に、児童・子育て支援からです。現計画では、生まれた後の子育て支援ということに重きがありましたが、生まれる前において妊婦さん自身が、例えば障がいをお持ちの方、あるいは支援する方が周囲にいないなど、それぞれ支援の内容が異なり、多様化しています。個々の状況に合わせ、妊娠期から切れ目ない支援が必要という課題があります。

次に、障がい福祉分野ですが、まだ障がい者に対する理解が十分でないことが上げられます。

次に、高齢者福祉・介護者支援ですが、超高齢化社会を迎える中で、支え合いのしくみづくりの深化が必要となってきました。加えて、在宅医療の理解が十分でないこともあります。健康寿命の延伸については、高齢者だけの課題ではなく、健康づくりは若いときからの積み上げの成果であります。南区では毎日飲酒や喫煙が高く、運動習慣が乏しいなど、望ましい生活習慣の定着が求められています。

次に、地域づくりですが、ひきこもりなど個別地域課題に対して相談支援を充実させる必要があります。

以上が、分野別の課題ですが、そのほかとして、新たに生活困窮者の自立支援ということも検討していく必要があります。

最後にすべての分野に係ることとして、地域における連携強化・ネットワークを拡大させ、課題の解決が図りやすくなるよう取り組む必要があります。これらの課題を踏まえ、次期分野別計画（案）としては、右側下の項に移ります。資料7の分野別計画は1番から4番の大項目だけを表示し、文言を変えた部分を赤字で表示しています。この体系のくわしくは資料8を用いまして説明したいと思っておりますので、資料8をご覧くださいと思います。

資料8は、目標ごとに番号を振っておりますので1番から順番に説明いたします。1番は、さきに説明した区ビジョンまちづくり計画と整合した基本目標を入れてあります。次に2番、大項目、安心して子育てできるまちに「産み」という言葉を足しました。小項目ですが3番、妊娠期からの切れ目ない支援。4番、地域で支えるゆとりある子育てへの支援。5番、子育て支援施設の充実に改めてみました。右隣の四角囲みの中をご覧ください。最初に分科会名を表示しております。その下は、改めた内容についての説明となっております。その下、取組みに追加した内容が二つ書かれています。支援が必要な妊婦への支

援。妊娠期からの切れ目のない支援。この視点を新たに加えていきます。

次に6番、大項目、障がいのある人もない人も安心して暮らせるまちは、現計画と文言を変えておりません。小項目ですが、7番、福祉サービス利用の相談体制充実。8番、障がいのある人と地域との交流。9番、自立支援体制の充実となっております。隣の四角囲みをご覧ください。分科会名を障がい者福祉・自立支援分科会と改め、小項目は8番だけ若干文言を修正し、現計画にありましたわかりやすい福祉情報の提供は削除しております。その下、取組みに追加した内容が二つ書かれています。研修会や講座の開催。生活困窮者の自立支援を新たに加えていきます。

次に10番、大項目、高齢者も安心して暮らせるまちについては、高齢者「が」になっていたのですが、高齢者「も」に改めています。隣の四角囲みをご覧ください。分科会名を高齢者福祉・介護者支援・健康づくり分科会と改め、小項目としては11番、高齢者・介護者を見守り支え合うしくみづくり。12番、認知症対策と在宅医療に対する理解の推進。13番、健康寿命の延伸に改めてみました。なお、現計画では、高齢者の閉じこもりや孤立の防止という小項目がありますが、これは以前、当委員会で16番の地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン活動の支援と取組みが同じになるので、以後はそちらに統合させたらどうかという意見があり、この分野からは除いてございます。その下、取組みに追加した内容が、支え合いのしくみづくりの深化。在宅医療の啓発を新たに加えていきます。

次に14番、大項目、私たちが支えあい、助けあうまちについてですが、隣の四角囲みをご覧ください。大項目名は変えていません。小項目としては、15番、地域のボランティアや福祉活動の情報発信と活動支援。16番、地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン活動の支援。17番、個別・地域課題の解決に向けた取組みが新規に入りました。18番、避難行動要支援者に対する支援の充実に変更してみました。その下、取組みに追加した内容ですが、ひきこもり支援、移動支援の検討、CSWによる相談支援体制の充実を新たに加えます。以上が、次期、南区地域福祉アクションプランの基本理念・基本目標（案）及び分野別の目標（案）と取組みに追加する内容です。

ここで資料7に戻っていただければと思います。事務局としては、本日、お示しした資料7の上段にあります基本理念・基本目標については、本日、ご承認を頂ければと思っておりますが、1番から4番の

田辺委員長	<p>分野別の大項目とそれに附帯する小項目や取組みについては、今後、分科会の意見交換を通じた中で変わる場合もあるかもしれないと想定しています。したがって、1番から4番の大項目、それに附帯する小項目については、今日のところはあくまでも素案の提示というところまでで止めておきたいと思います。以上、議事（7）の説明を終わります。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。</p>
田辺委員長	<p>今、最後に説明ございましたけれども、次期の基本理念・基本目標、この案で承認を頂くわけでございますが、その前に何かお尋ねしたいことがございましたら、皆さんからひとつお願いしたいと思います。ありませんか。この基本理念・基本目標を承認してよろしいでしょうか。異議なしですか。ありがとうございます。そういうことで、これを承認いただきました。ありがとうございます。</p>
事務局	<p>次に、分科会へ移りたいと思います。</p> <p>それでは、これから事務局も席を移りまして、各分科会の顔合わせを行います。その後各分野から素案の提示と説明を行います。素案の提示が終わりましたら、分科会の日程調整を行って、本日の分科会は終了となります。</p> <p>事務局は、各分科会の席へ移動願います。</p>
	<p style="text-align: center;">(分科会)</p>
田辺委員長	<p>再開いたします。</p> <p>第6番の事務局の報告並びに連絡事項でございます。ひとつお願いいたします。</p>
事務局	<p>今回の第2回目の推進委員会の開催ですが、スケジュールにもお示ししましたが、8月中旬をめぐりにご案内申し上げたいと思います。2回目の委員会では、現計画の取組み結果の報告、そのころには分科会も開催されていますので、開催状況と検討結果の報告も予定しています。</p>
田辺委員長	<p>ありがとうございました。時間も15分ばかり12時を回っておりますが、つたない進行でございましたが、ご協力ありがとうございました。</p> <p>これで、今日の会議を閉じさせていただきたいと思っております。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>田辺委員長、山田副委員長、長時間にわたり、進行をありがとうございました。</p>

	<p>今日、頂いたご意見を参考に、今後のアクションプランを推進していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
--	---

これで、予定していたものはすべて終了となります。大変ありがとうございました。気をつけてお帰りください。